

グローバルな想像力が集う
クリエイティブワーカーの聖地

渋谷駅周辺で、100年に一度と言われる再開発が行われている。2012年の渋谷ヒカリエ開業を端緒として渋谷駅周辺の再開発が本格化。渋谷ヒカリエも含めて、現在8つのプロジェクトが進行中である。東急東横線と東京メトロ副都心線が地下5階レベルで相互直通運転を開始したことにより、旧東横線渋谷駅のホームと線路跡地という貴重な空間が生み出され、2018年9月に低層部に約30店舗からなる商業ゾーン、中層にホテル、上層に渋谷エリア最大級のオフィス、別棟にホールなどを擁する大規模複合施設「渋谷ストリーム」が開業した。

「渋谷ストリームは、南への人々の新しい流れを創り出し、回遊性の起点となることを目指し、周辺地権者の皆さんと進めた共同事業。これまで渋谷駅を中心から南方面への移動は国道246号により分断されていたが、鉄道の記憶を残した国道上空デッキをはじめ、人々が楽しみながら移動できる仕掛けを随所にちりばめている。同時に、官民連携により渋谷川を再生し、川沿いの遊歩道を整備することで水と緑のネットワークを渋谷に創出し、恵比寿・代官山方面に街がつながるきっかけとなった」と語るのは東京急行電鉄株式会社渋谷開発事業部課長の大竹 成忠氏。「渋谷ストリームのコンセプトは「クリエイティブワーカーの聖地」。かつて、IT企業勃興期にはベンチャーが活躍する場として『ビットバレー』と呼ばれた渋谷。クリエイティブワーカーが世界中から結集する場となってほしい」と語る。すでにオフィスゾーンにはグーグル合同会社の本社機能の入居が決まっており、新たなムーブメントが始動している。

◀ 2階レベルで建物をつなぐ貫通路
昼は白、夜には暖かい光色とし、10分に1回照度・色温度を変化させる演出が行われる



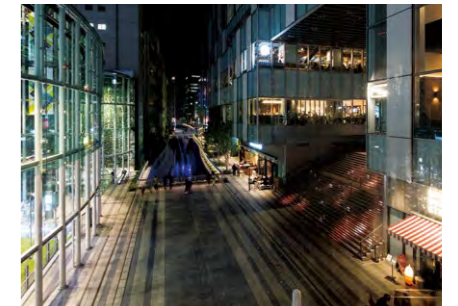
渋谷ストリーム

所在地 / 東京都渋谷区渋谷
 主 / 東京急行電鉄株式会社
 設計・監理 / 株式会社東急設計コンサルタント
 デザイナー・キテクト / 小嶋一浩+赤松佳珠子、シーラカンズアンドアソシエイツ (CAI)
 オフィスビル・アーキテクト / サボースデザインオフィス
 照明デザイン / 岡安照明設計事務所、パナソニック株式会社
 施工 / 東急・大林共同企業体
 竣工 / 2018年8月

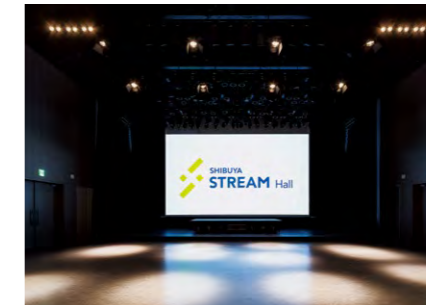
©渋谷ストリーム



ガラス越しに浮かび上がるアーバン・コアのエスカレーター



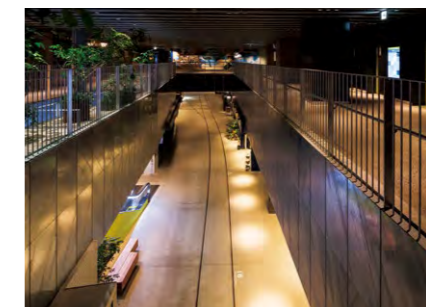
南へと続く渋谷川沿いの街路照明



スタンディングで約700名が収容できる6階ホールのプロジェクションと演出照明



照明器具の存在を極力抑えたホール棟5階のホワイエ



鉄道の線路を敷いた2階商業ゾーンの通路は光だまりが連続する



光の反射がシャープなデザインの天井を際立たせる



主な設備

- LEDダウンライト
- LEDスポットライト
- アレンジ調色システム
- 照明制御システム
- LED演出照明
- 調光操作卓
- 高輝度プロジェクター
- 監視カメラシステム
- 電力監視システム